



2026年12月期 第1四半期

補足資料

2026年5月15日（金）

株式会社ビーグリー（Beagle Inc.）

東証スタンダード：3981

売上高

3,767百万円

(前期比 9.1% 減)

調整後EBITDA

425百万円

(前期比 9.3% 減)

営業利益

184百万円

(前期比 19.2% 減)

当期純利益

30百万円

(前期比 66.9% 減)

- 売上高は、両セグメントともに減収となったことで、**前期比9.1%の減収**となった。
- Pセグが増益となった一方で、Cセグが減益となったことにより、調整後EBITDAは、**前期比9.3%の減益**、営業利益は、**前期比19.2%の減益**となった。
- 当期純利益は、営業利益の減少に伴い、**前期比で減益**となった。

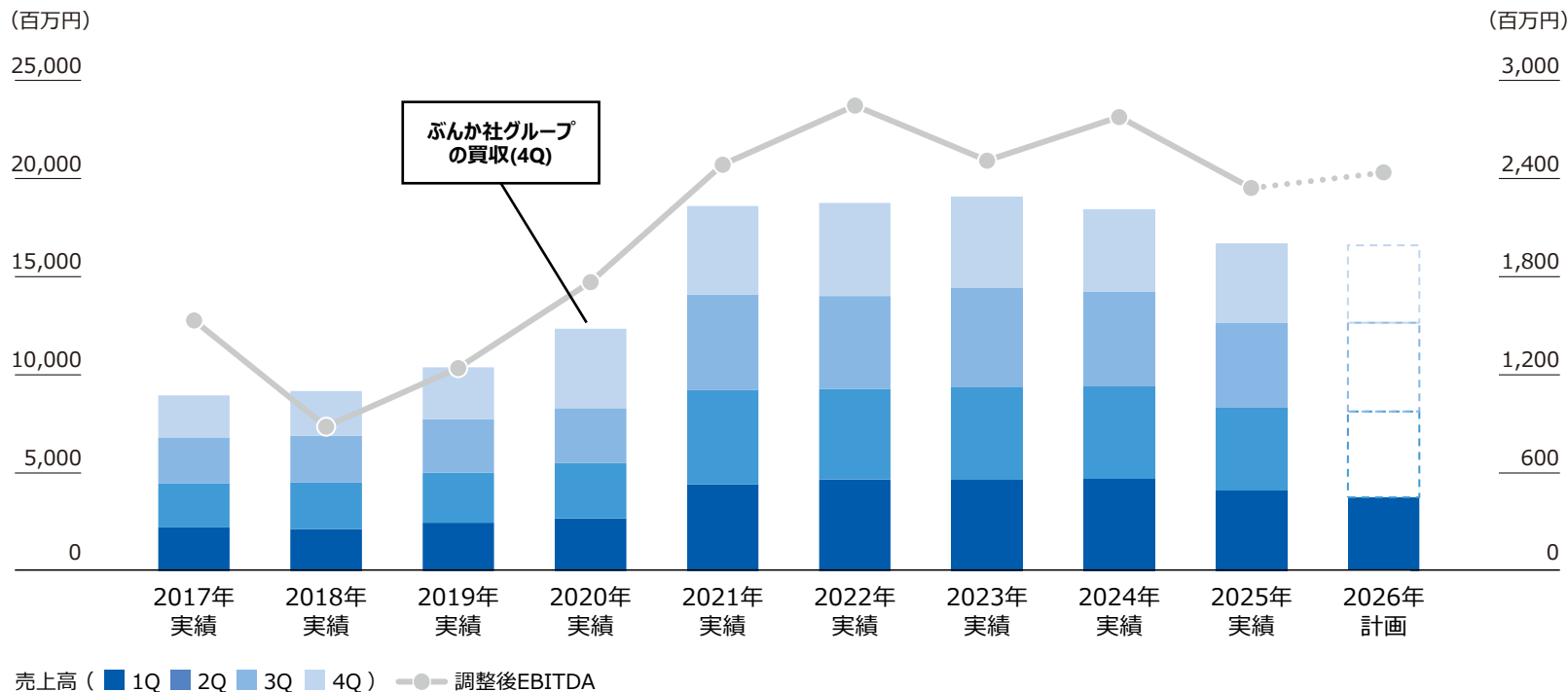
(単位：百万円)

P/L	2025年12月期	2026年12月期	前期比	
	1Q 累計	1Q 累計	増減額	増減率
売上高	4,146	3,767	▲379	▲9.1%
調整後EBITDA	469	425	▲43	▲9.3%
営業利益	228	184	▲43	▲19.2%
経常利益	212	171	▲41	▲19.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	92	30	▲61	▲66.9%
1株当たり当期純利益 (円)	16.53	5.47	▲11.06	—

注：端数処理の都合、合計値は不一致

注：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（著作権の償却費を含む） + のれん償却費 + 敷金償却費 + 株式報酬費用 ± その他の調整項目

売上高・調整後EBITDA



注：「2026年計画」の売上高は1Qのみ実績値、調整後EBITDAは計画値

注：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（著作権の償却費を含む）+ のれん償却費 + 敷金償却費 + 株式報酬費用 ± その他の調整項目

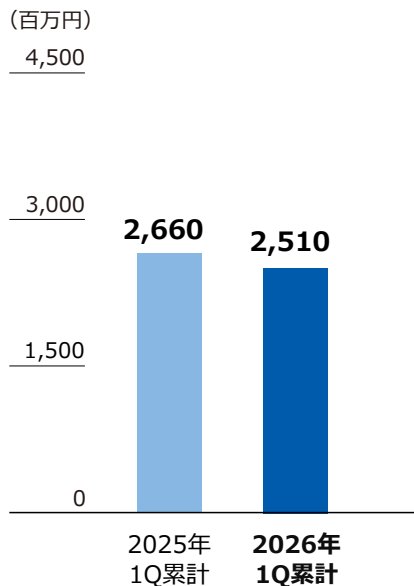
(単位：百万円)

B/S	2025年12月期末		2026年12月期 第1四半期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	補足
流動資産	8,623	52.1%	7,022	47.5%	▲1,601	
固定資産	7,932	47.9%	7,754	52.5%	▲178	のれん 69.9億円 出版権 0.7億円
資産合計	16,556	100.0%	14,776	100.0%	▲1,780	
負債合計	8,493	51.3%	6,913	46.8%	▲1,579	D/E レシオ 0.39
純資産合計	8,063	48.7%	7,862	53.2%	▲201	
負債・純資産合計	16,556	100.0%	14,776	100.0%	▲1,780	
自己資本比率	48.6%		53.1%			

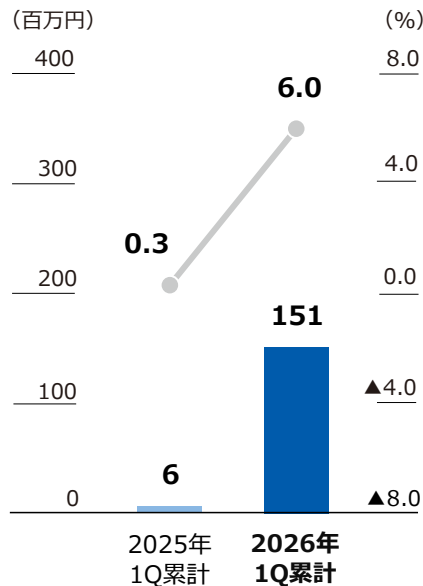
注：端数処理の都合、合計値は不一致

プラットフォームセグメント…コミック配信サービス「まんが王国」の運営、まんが王国オリジナル作品のデジタル出版、その他周辺ビジネス

売上高



営業利益・営業利益率



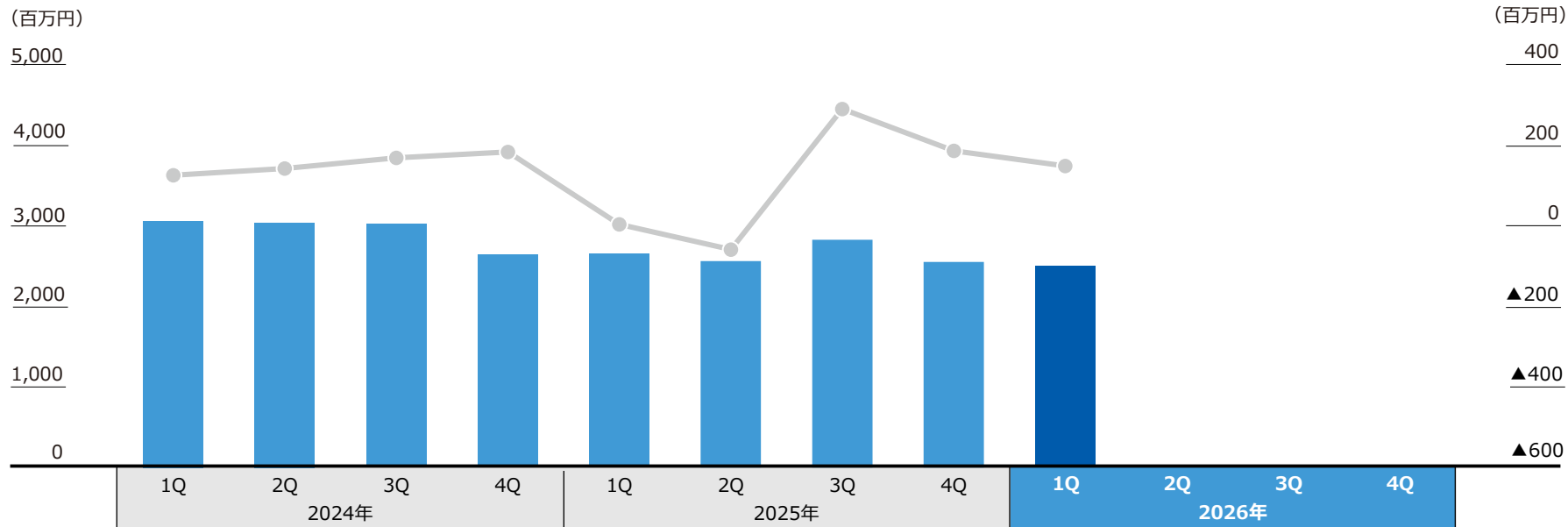
売上高

- 売上高は、『まんが王国』の売上高がYonY91%となったことで、QonQ98%、YonY94%となった。
- MAUは、ヘビーユーザー定着・育成に注力したものの、全体の減少を補いきれず、YonY▲24%となった。
- 当社オリジナル作品「この男、優良物件につき ～クレクレ義妹が私のすべてを奪ってきます～」がヒットし、外販売上は好調に推移した。

営業利益

- 営業利益は、売上総利益が前期比で減少したものの、広告宣伝費をはじめとした販売管理費が減少したことにより、YonY+144百万円となった。
- 広告宣伝費は、前下期から実施した効率的な広告運用により、売上への影響範囲を限定的に抑えつつ、出稿を最適化できたことで、YonY▲171百万円となった。

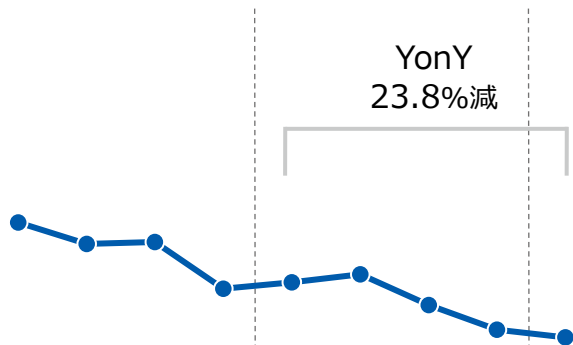
Pセグ 売上高・営業利益



■ 売上高 ● 営業利益

注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

MAU

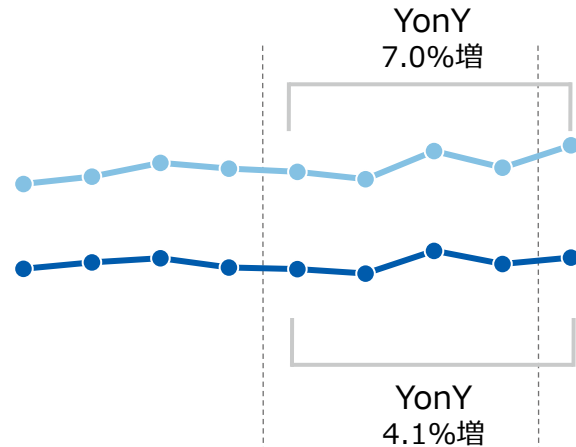


1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2024年				2025年				2026年			

● MAU

『まんが王国』を訪れた会員数の推移

ARPPU (課金・消費)



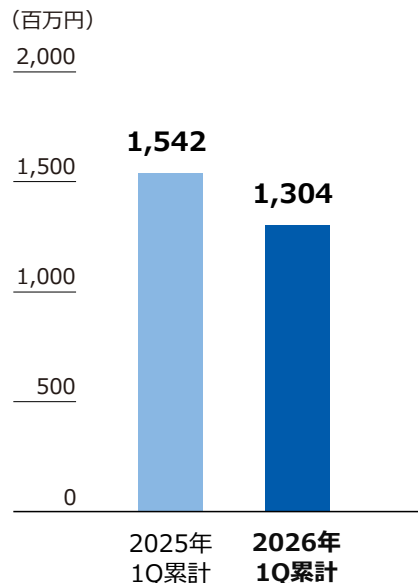
1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
2024年				2025年				2026年			

● 課金ARPPU ● 消費ARPPU

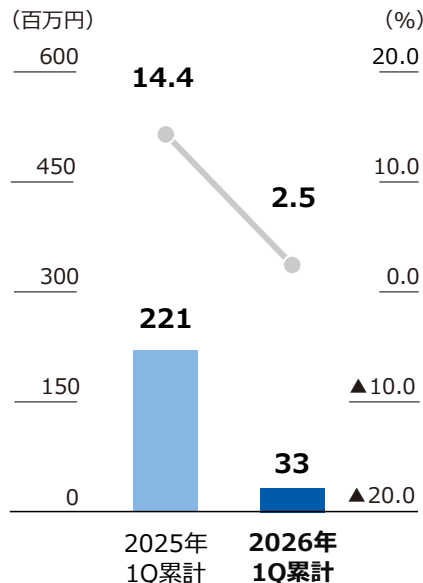
課金額・消費額を有料会員数で割った金額の推移

コンテンツセグメント…ぶんか社を中心とする書籍・雑誌の出版、およびそれらのデジタル出版

売上高



営業利益・営業利益率



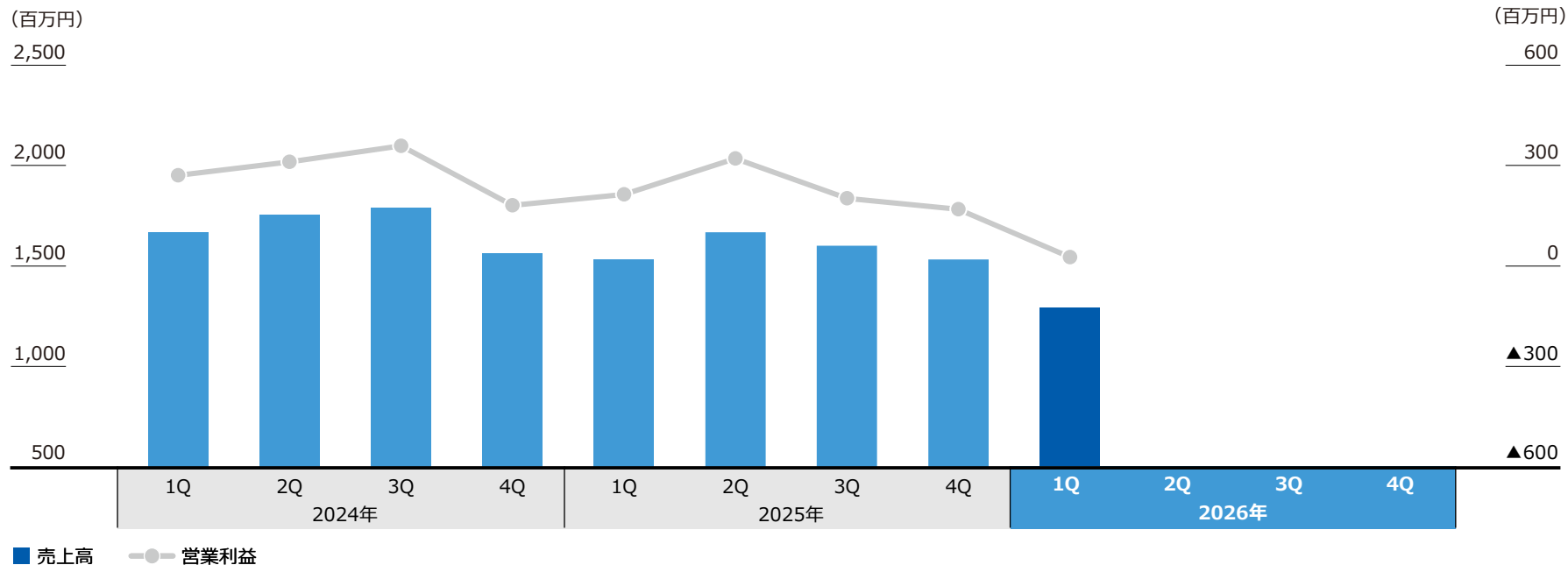
売上高

- デジタル売上高は、市場の成熟化及び競争激化に伴い、1タイトル当たりの売上高が減少したことに加え、ヒットタイトル数が少なかったことから、YonY85%の1,024百万円となった。
- 紙出版売上高は、ヒットタイトル数が少なかったことを受け、YonY82%の279百万円となった。
- セグメント売上高は、デジタル売上高が前期比で減少したことで、YonY85%となった。

営業利益

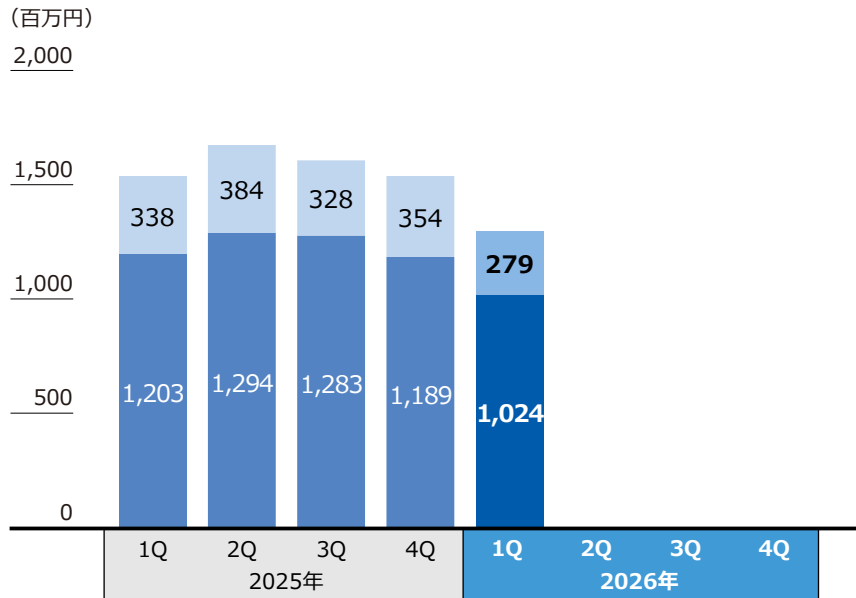
- デジタル売上高が前期比で減少したことに加え、原価率が上昇したことにより、デジタル収益はYonYで減少となった。
- 紙出版収益も同様にYonYで減少となった。
- セグメント利益は、デジタル収益の減少により、YonY▲188百万円となった。

Cセグ 売上高・営業利益



注：売上高はセグメント間の内部売上高又は振替高を含む

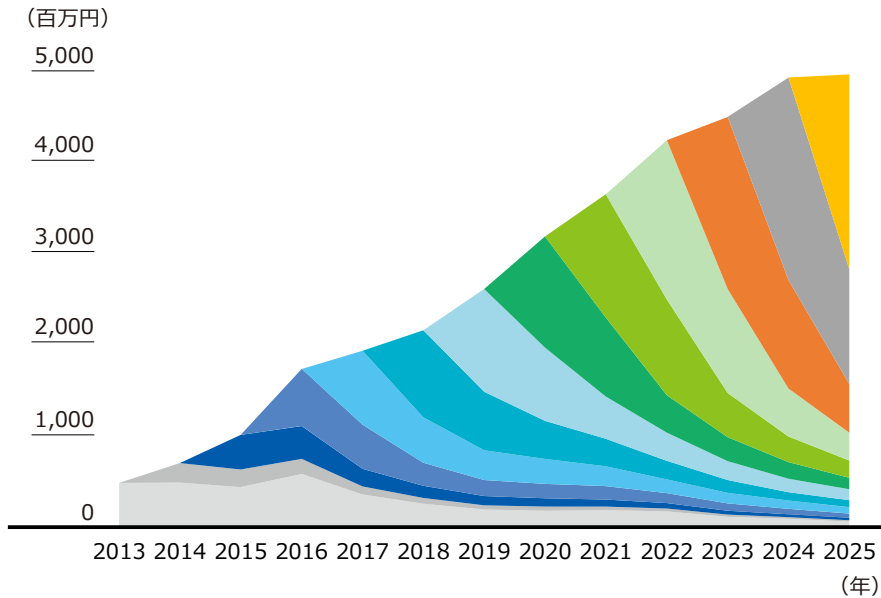
Cセグ 売上高



■ デジタル ■ 出版・その他

注：端数処理の都合、合計値は不一致

デジタル売上高と配信開始時期



■ 2013年 ■ 2014年 ■ 2015年 ■ 2016年 ■ 2017年 ■ 2018年 ■ 2019年 ■ 2020年 ■ 2021年 ■ 2022年 ■ 2023年 ■ 2024年 ■ 2025年

注：管理会計数値のため、財務会計数値と不一致

『まんが王国』の運営最適化による収益性の向上と
女性向け作品の拡大及び一般向け作品の制作を強化

(単位：百万円)

P / L	前期実績		2026年12月期 予想	
	通期	通期	増減額	増減率
売上高	16,720	17,091	+371	+2.2%
調整後EBITDA	2,346	2,441	+95	+4.1%
営業利益	1,368	1,491	+123	+9.0%
経常利益	1,319	1,443	+123	+9.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	683	721	+37	+5.5%
1株当たり当期純利益 (円)	122.37	129.05	+6.68	—

注：端数処理の都合、合計値は不一致

注：調整後EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（著作権の償却費を含む） + のれん償却費 + 敷金償却費 + 株式報酬費用 ± その他の調整項目

見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。
- これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 本資料内には、事業環境の説明を行う上で参考になると考える情報を掲載しておりますが、会計監査人の監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性を完全に保証するものではありません。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。
- 本資料に記載された会社名、サービス名及び製品名等は該当する各社の商標又は登録商標です。

クリエイターとファンを繋ぎ、新たな価値を創造する



株式会社ビーグリー (Beagle Inc.) 証券コード : 3981

Email : ir@beagle.com